

## 令和6年度岩手県久慈保健所事業の実施状況【保健課】

※ 実績は、特に断り書きがない限り、令和7年1月末現在である。

(括弧内は参加人数)

### 1 被災住民への健康支援

被災者の健康保持とこころのケアのため、関係機関との連絡会や関係者の資質の向上を図るため研修等を実施した。

- (1) 野田村復興支援チーム定例連絡会：10回（今後2月、3月開催予定）
- (2) 被災地及び支援者のこころの健康づくり研修会：1回（61人）

### 2 生活習慣病予防の推進

脳卒中疾患及び心疾患の死亡率減少や減塩等の生活習慣改善の取組を促進するため、「健康いわて21プラン（第三次）〔令和6年度～令和17年度〕久慈保健医療圏」に基づき、関係機関と連携し、会議、研修会等の開催、事業所等への訪問等を実施した。

#### (1) 地域・職域連携の推進

- ア 久慈地域ヘルスサポートネットワーク会議：1回（2月27日開催予定）
- イ 地域職域連携ワーキング：1回（4市町村）（今後3月上旬開催）

#### (2) 健康経営の取組の推進

- ア 「いわて健康経営宣言」「いわて健康経営認定事業所」登録への働きかけ
- イ 「岩手県脳卒中予防県民会議」の会員拡大のための周知
- ウ メーリングリストによる管内企業への健康経営等の普及啓発（153社）
- エ 県北局経営企画部との連携による関係団体・事業所訪問（7事業所）

#### (3) 循環器病等予防緊急対策事業

- ア 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（毎月28日）：10回庁舎内におけるのぼり旗の掲揚、普及啓発物品配架、4回県北局 SNS 減塩レシピ掲載、1回管内スーパーでのキャンペーン
- イ 健康的な食事推進マスター活動支援研修：4回（275人）
- ウ 出前講座：12回（572人）
- エ 健康的な食事推進地域普及研修（二戸保健所と共催）：1回（42人）
- オ 栄養成分表示の拡大講習会：9回（61人）  
（久慈管内栄養成分表示登録店 14店舗）
- カ 講演：第2回減塩フェスタ in 久慈での講演（減塩について）（245人）

#### (4) がん対策

がん検診受診率50%にむけた集中キャンペーン及び乳がん予防月間（10月）：庁舎内県民ホール特設ブース展示

#### (5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

- ア 糖尿病性腎症重症化予防連携会議及び研修：1回（22人）
- イ 糖尿病性腎症重症化予防地域連携の実施：医療機関から市町村への保健指導依頼体制の整備等

#### (6) 喫煙・受動喫煙防止対策

- ア 世界禁煙デー（5/31）、禁煙週間（5/31～6/6）における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示
- イ メーリングリストによる管内企業への健康経営等の普及啓発（153社）
- ウ 施設管理者等説明会：9回（61人）
- エ 食品衛生協会久慈支部飲食店に対する巡回指導時での受動喫煙防止措置周知：1回（44店舗）

### 3 栄養改善

地域で栄養改善や健康づくり活動をする食生活改善推進員等の人材育成のため研修会や、特定給食施設に対する指導等を実施した。

#### (1) 食生活改善推進員地区組織の育成

- ア 久慈支部総会及び研修会：総会1回（46人）研修会：2回（76人）
- イ 久慈及び二戸支部交流会：1回（42人）
- ウ 食生活改善推進員を対象とした健康的な食事地域普及研修：1回（20人）

## (2) 特定給食施設指導

- ア 指導施設数（医療監視及び保育所監査と同時）：15 施設
- イ 給食業務従事者研修：1 回（52 人）

## 4 歯科保健対策

口腔の健康づくりの推進のため、歯科保健医療に従事している歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職並びに保健医療、介護福祉関係者等に対する研修及び思春期歯肉炎予防として高校生を対象とした歯科保健講座を実施した。

### (1) 研修会、講話等

- ア 久慈地域高齢者施設向け歯科保健研修会：1 回（オンライン、27 施設）
- イ 高校生のための思春期歯肉炎講座：高校 3 校（63 人）

### (2) 「歯と口の健康週間（6/4～6/10）」における普及啓発

庁舎内県民ホール特設ブース展示

## 5 母子保健対策

医療機関、市町村及び保健所が相互に連携を図り、地域における妊娠期から子育て期までの切れ目のない継続した支援体制の構築、支援者の資質の向上及び思春期にある者へ正しい知識の普及を図るため、関係機関と連携し連絡会、研修会を実施した。

また、不妊治療の経済的な負担軽減のための交通費助成、小児慢性特定疾患医療費支給認定等を行っている。

### (1) 関係機関との連携

- ア 久慈地域母子保健医療連絡会：5 回（48 人）（今後 3 月開催予定）
- イ 市町村母子保健担当者連絡会：1 回（10 人）

### (2) 研修等の開催

妊産婦メンタルヘルスケア研修会：1 回（66 人）

### (3) 思春期保健講座：高校 1 校（122 人）

### (4) 特定不妊治療交通費助成

特定不妊治療を受けた方の経済的負担を軽減するため通院にかかる交通費一部助成  
助成件数：3 件

### (5) 小児慢性特定疾病医療費支給認定

受給者数：37 人（令和 6 年 12 月末）  
家庭訪問：1 件

## 6 感染症対策

感染症の発生時に対する平時からの準備や研修、訓練を行い、発生時の積極的疫学調査、現地指導を行い感染拡大防止に努めているほか、住民への普及啓発、高齢者施設等を対象とした感染症予防対策研修の開催、感染症発生状況情報提供などを実施した。

また、今年度は、5 月末に管内で発生した豚熱対応及び令和 7 年 1 月に管外で発生した鳥インフルエンザ対応に従事した。

〔全数把握疾患の発生件数〕（令和 6 年 1～12 月まで）

類型	疾患名	件数	発生月	R5 年（1～12 月）件数
一類		0		0
二類	結核	13	2 月（1）、3 月（1）、4 月（1）、 5 月（1）、6 月（1）、9 月（4）、 10 月（2）、11 月（1）、12 月（1）	3
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0		5
四類	レジオネラ症	5	6 月（1）、7 月（1）、8 月（2）、 10 月（1）	5
五類（全数）	梅毒	2	2 月（1）、4 月（1）	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3 月（1）	0
	アメーバ赤痢	0		1

〔集団感染の発生件数〕 (令和6年1～12月まで)

類型	疾患名	件数	発生月	R5年(1～12月)件数
五類	感染性胃腸炎(ノロウイルス)	0		1
	感染性胃腸炎(ノロを除く)	0		0
	インフルエンザ	16	1月(4)、2月(6)、3月(1)、 12月(5)	35
	新型コロナウイルス感染症	29	1月(2)、2月(2)、3月(5)、 5月(5)、6月(1)、8月(2)、 9月(3)、11月(4)、12月(5)	23

\* 保育所、学校におけるインフルエンザは、施設の休業措置に至ったものを計上

\* 新型コロナウイルス感染症は、クラスター公表至ったものを計上

**(1) 感染症発生時の対応**

発生にかかる積極的疫学調査の実施及び保健指導、施設調査及び感染対策指導

ア クラスター発生時対応

感染性胃腸炎集団発生：1件(令和5年度2件)

新型コロナウイルス感染症：21件(令和5年度23件)

インフルエンザ：15件(令和5年度35件)

イ 鳥インフルエンザ発生に係る職員派遣：令和7年1月

食の安全安関係危機管理対応指针对応による対応

**(2) 感染症発生動向状況の情報提供**

毎週金曜日に関係機関へ情報提供

**(3) 研修、訓練の実施**

ア 感染症予防研修会(市町村職員、高齢者施設、教育保育施設等)：5回(81人)

イ 出前講座(高齢者施設)：4回(85人)

ウ 久慈消防署との感染症患者発生時搬送訓練：1回(17人)

エ 鳥インフルエンザ発生時対応訓練(市町村、保健所)：1回(17人)

オ 鳥インフルエンザ等発生時対応研修会(久慈合庁職員)出席：10月

カ 鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修会(県北局)出席：9月(二戸合庁で開催)

キ HIV迅速検査研修及び包装責任者養成研修会(講師)：1回(13人)

**【久慈消防署との感染症患者発生時搬送訓練】**

1 開催日 令和6年10月18日

2 場所 久慈合同庁舎 1階健康増進室及び駐車場

3 出席者 久慈消防署11人、久慈保健所6人

4 内容 講義及び実演

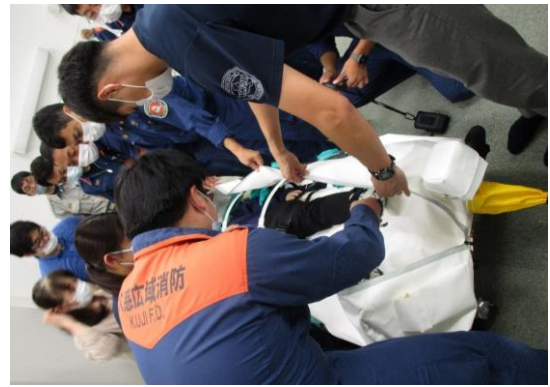
講義「感染症患者の移送における感染対策について」久慈保健所長

実演「アイソレーターの使用の確認、保健所と消防の連絡等」

感染症患者の移送における感染対策について講義を行い、その後、アイソレーターの配備場所や使用方法について保健所職員より説明し、保健所から救急隊へのアイソレーターの受け渡し方法、救急隊による救急車両への設置などを訓練した。



講義



アイソレーター使用方法確認



アイソレーター使用方法確認



救急車への設置

**【鳥インフルエンザ発生時対応訓練】**

- 1 開催日 令和6年11月13日
- 2 場所 久慈合同庁舎 1階健康増進室
- 3 出席者 管内市町村保健師 10人、久慈保健所7人
- 4 内容 講義及び実演
  - 講義
    - ・家畜伝染病予防法等に係る鳥インフルエンザ発生時の対応 久慈保健所長
    - ・家畜防疫作業従事者に対する健康調査 保健課職員
    - ・令和6年洋野町豚熱発生時の対応 保健課職員
  - 実演 健康調査の実施

鳥インフルエンザ発生時の対応について講義を行い、その後、実際に健康調査の流れの確認や問診、指導などを実演した。また、洋野町豚熱発生の際に、洋野町及び久慈市の保健師に救護活動等に支援いただき、活動報告も合わせて行った。



講義



実演（健康調査）

#### (4) 所内における相談窓口、検査等の開設

- ア エイズ相談、HIV抗体検査：10回（3件）（令和5年度12回6件）
- イ 肝炎ウイルス検査、相談：10回（5件）（令和5年度12回15件）
- ウ 性器クラミジア病原体検査、相談：10回（3件）（令和5年度12回6件）
- エ 梅毒検査、相談：10回（3件）（令和5年度12回6件）
- オ HTLV-1抗体検査、相談：10回（1件）（令和5年度12回0件）
- カ その他感染症に係る相談：1件（令和5年度2件）

#### (5) 鳥インフルエンザ発生に備えた対応

- ア 所内職員体制及び発生時対応マニュアルの整備
- イ 鳥インフルエンザ発生時対応訓練（市町村、保健所）：1回（17人）（再掲）
- ウ 鳥インフルエンザ等発生時対応研修会（久慈合庁職員）出席：10月（再掲）
- エ 鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修会（県北局）出席：9月（二戸合庁で開催）（再掲）

#### (6) 結核対策

- ア 患者に対する服薬指導等（家庭訪問等）：延228件（令和5年度49件）
- イ 感染症診査協議会の開催：18回
- ウ 接触者健康診断：所内95件（令和5年度8件）、病院委託11件（令和5年度8件）
- エ 管理検診：病院委託6件（令和5年度10件）、定期病状調査：6件（令和5年度7件）
- オ 「結核予防週間（9/24～9/30）」における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示、高齢者施設へのパンフレット等配布
- カ 出前講座での普及啓発：2回

#### (7) 肝炎対策

- ア 肝炎ウイルス検査、相談：10回5件（令和5年度12回15件）（再掲）
- イ 肝炎治療特別促進事業（医療費の助成）受給者数：55人（令和6年12月末）

#### (8) エイズ・性感染症等対策

- ア 検査等
  - エイズ相談、HIV抗体検査10回（3件）令和5年度12回6件）（再掲）
  - 性器クラミジア病原体検査、相談：3件（令和5年度12回6件）（再掲）
  - 梅毒検査、相談：10回（3件）（令和5年度12回6件）（再掲）
  - HTLV-1抗体検査、相談：10回（1件）（令和5年度12回0件）（再掲）
- イ 「世界エイズデー（12/1）」における普及啓発の取組：庁舎内県民ホール特設ブースにレッドリボンツリー等の設置、管内スーパーマーケットでのキャンペーン実施及び普及啓発物品の配架

### 7 こころの健康づくり・自殺対策

管内の自殺死亡率の減少のため、自殺対策アクションプラン（令和6年度から令和10年度）に基づき関係機関との連携、協力を図りながら、包括的な自殺対策プログラム（久慈モデル）に実施した。

#### 〔年次別自殺死亡率・自殺死亡者数〕（人口動態統計）

（R5は人口動態統計を基に久慈保健所が算出）

#### 【自殺死亡率】

※○数字は全国順位

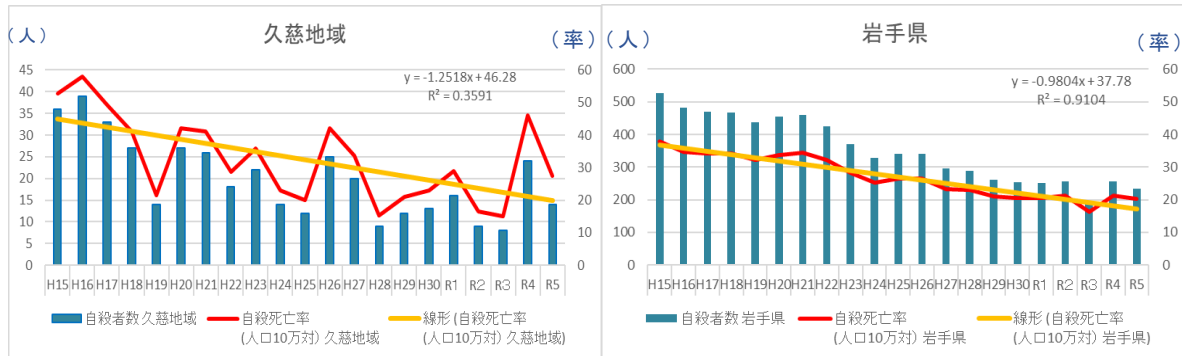
	R1	R2	R3	R4	R5
久慈地域	28.9	16.5	15.0	46.0	27.4
岩手県	② 20.5	① 21.3	②⑥ 16.2	① 21.3	② 20.2
全国	15.7	16.4	16.5	17.4	17.3

（人口10万対）

【自殺死亡者数】

	R1	R2	R3	R4	R5
久慈地域	16	9	8	24	14
岩手県	250	256	193	255	233
全国	19,425	20,243	20,291	21,723	21,016

〔自殺者数・自殺死亡率の推移〕



(1) ネットワーク

- ア 久慈地域自殺対策推進ネットワーク会議：1回（3月7日開催予定）
- イ 久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会：8回（延515人）
- ウ 市町村等こころのケア担当者連絡会：8回（延154人）

(2) 一次予防（こころの健康づくりの普及啓発）

- ア いきる支援セミナー：1回（2月20日開催予定）
- イ ゲートキーパー養成研修（職域等）（通年）：11回（641人）
- ウ 傾聴ボランティア養成講座：1コース4回（受講済5人）
- エ 傾聴ボランティアフォローアップ研修：1回（18人）
- オ 「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間（9月・3月）における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示、県北局 SNS による周知
- カ 管内中学校、高校卒業生に対する普及啓発：3月予定

(3) 二次予防（相談窓口・ハイリスク者支援等）

- ア 専門医による精神保健福祉相談（毎月1回）：10回（27件）（令和5年度12回2件）
- イ 不登校、ひきこもり専門相談：13回（27人）（令和5年度18回36人）
- ウ 市町村うつクリーニング実施の支援：野田村3日間

(4) 三次予防（自死遺族ケア）

- 自死遺族交流会：5回（延16人）（今後3月開催予定）（R5年度6回12人）

(5) 精神疾患へのアプローチ

- ア 精神障害者（家族）の相談支援（通年）
- イ アルコール相談：10回（3件）

(6) 職域へのアプローチ

- ア 事業所訪問：7か所
- イ 働くひとのメンタルヘルス研修：1回（64人）

8 精神保健福祉対策

精神障害者の早期治療の促進及び地域住民の精神保健の保持増進を図るため、専門医や保健師による相談、通報時緊急対応、在宅精神障がい者社会適応訓練事業の実施、ひきこもり対策として居場所づくり、支援者に対する研修会、アルコール関連対策として、相談日の開設や断酒会への支援を行った。

また、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院）受給者証の交付事務を行った。



### (1) 精神保健に係る対応

通報等緊急対応件数：19件（警察官通報、その他相談による）（令和5年度16件）

### (2) 精神保健相談

ア 専門医による精神保健福祉相談（毎月1回）：10回（27件）（令和5年度12回2件）

イ 保健師等による面接相談：81件（令和5年度85件）

ウ 保健師等による電話相談：98件（令和5年度165件）

エ 保健師等による訪問指導：28件（令和5年度30件）

### (3) 精神障がい者社会復帰促進事業

委託事業所：1事業所 訓練者：1人

### (4) 精神障害者福祉手帳等の交付

ア 精神障害者保健福祉手帳受給者数：759人

イ 自立支援医療費（精神通院）受給者数：1,519人

### (5) ひきこもり対策

ア 不登校、ひきこもり相談：13回（延27人）（R5年度18回36人）

イ ひきこもりの若者の集まり、家族会：9回（延26人）（R5年11回23人）

ウ ひきこもり相談支援者研修会：1回（30人）

### (6) アルコール関連問題対策

ア アルコール相談：10回（3件）（R5年度12回7件）

イ アルコール等依存症に関する出前講座：2回（123人）

ウ 断酒会支援

エ アルコール関連問題啓発週間（11/10～11/16）：ポスター等掲示による周知

## 9 難病対策

在宅難病患者の療養を支援するため、患者及びその家族への相談や家庭訪問、交流を開催した。

また、難病のうち指定難病患者への医療費の公費負担にかかる特定医療費（指定難病）申請事務を行った。

(1) 受給者数：456人（令和6年12月末）

(2) 家庭訪問件数：4件

(3) 消化器系難病患者と家族の交流会：1回（7人）

(4) パーキンソン病友の会久慈支部活動支援：4回

## 10 臓器移植・骨髄ドナー登録

骨髄ドナー登録の推進のため、臓器移植に関する普及啓発を行うとともに、登録会を開催した。

(1) 定例骨髄ドナー登録：10回（1人登録）

(2) 移動献血並行型骨髄ドナー登録会：2回（5人登録）

## 11 保健看護

管内の保健活動の情報交換や事業の推進のため、統括保健師連絡会の開催や管内の新任期をはじめとする保健師の人材育成のため研修会を開催した。また、学生の実習を受け入れ、指導を行った。

(1) 統括保健師等連絡会：1回（5人）

(2) 管内保健師研修会：1回（11人）

(3) 学生実習指導

保健師・看護師：2校（学生4人） 管理栄養士：2校（学生2人）

## 健康危機対応について

### 1 洋野町豚熱発生に係る対応について

#### (1) 発生の概要

所在地：洋野町

飼育状況：約 17,500 頭

(繁殖豚数約 1,500 頭、肥育豚数約 11,000 頭、子豚約 5,000 頭)

#### (2) 経過

令和 6 年 5 月 27 日 (月)

13:00 農場から県北家畜保健衛生所に豚熱を疑う異常豚の報告

5 月 28 日 (火)

20:00 国の検査機関で検査し患畜と判定

豚熱対策本部を設置

21:00 発生農場での殺処分を開始

6 月 17 日 (月)

14:00 発生農場での殺処分を完了 (19,780 頭殺処分、患畜判定後に生まれた子豚含む)

6 月 20 日 (木)

15:00 殺処分した豚等の埋却及び発生農場の消毒 (1 回目) を完了

6 月 27 日 (木) 発生農場の消毒 (2 回目) を完了

7 月 4 日 (木) 発生農場の消毒 (3 回目) を完了

#### (3) 防疫措置への従事者数

県職員：延 4,412 人 (防疫作業 延 3,141 人、運営等従事 延 1,271 人)

県外からの応援の獣医師：延 104 人 (30 道県及び国)

関係団体等の職員：延 1,498 人 (洋野町延 142 人、久慈市延 2 人、  
JA 新いわて延 126 人、建設業協会久慈支部延 1,228 人)

\* 協力団体・企業 11 か所

#### (4) 会議等

豚熱対策本部員会議 (本庁) 3 回

豚熱対策久慈地方支部会議 (久慈合庁) 10 回

#### (5) 久慈保健所の対応

##### ① 「健康・環境班」として、次の業務を実施

・対応期間：5/28～6/19 23 日間 (殺処分開始から埋却終了まで)

・業務：救護所の運営、防疫作業従事者の PPE 着脱指導、  
農場等での感染対策等現地指導

・所内対応職員：延べ 81 人

救護 延 28 人、PPE 着脱指導 延 36 人、現地確認及び感染対策指導  
等 延 17 人

・応援：県内保健所及び本庁、庁内教育班、洋野町及び久慈市の保健師  
延 204 人 (救護 延 88 人、PPE 着脱指導 延 116 人)

・洋野町及び久慈市からの応援：保健師 延 6 人 (洋野町 3 人、久慈市 3 人)

6/6 及び 6/10 豚熱対応研修 (講義、PPE 着脱指導)、現地視察

6/12～6/19 延 6 日支援

##### ② 従事者のメンタルヘルスケア対策

・防疫作業員 (県職員) に対し、健康サポートセンターからストレス対処や相談  
窓口を発信

・農場関係者について県北家畜保健衛生所から、また、建設業協会久慈支部に  
ついて土木部を通じてメンタルヘルス、相談窓口に関するチラシを周知

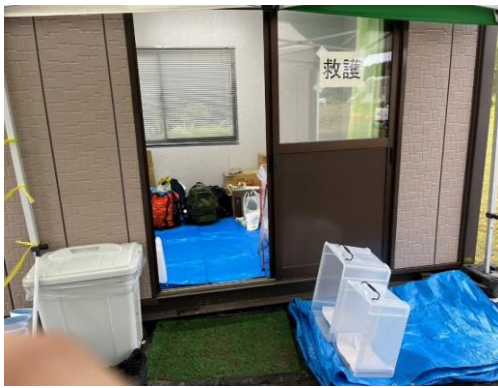
##### ③ 埋却地等周辺的环境調査の実施

・調査地点：河川 4 地点、地下水 2 地点、臭気 1 地点

・調査期間 (回数)：埋却後 6 か月間 (6 回)

・調査結果：異常なし





救護所の設置



救護所内



着衣指導



脱衣指導

## 2 鳥インフルエンザ発生に係る支援について

### (1) 盛岡市 発生事案（4事例）

	1 事例目	2 事例目	3 事例目	4 事例目
概要	採卵用成鶏 約 12 万羽	採卵用成鶏 約 40 万羽	採卵用成鶏 約 36 万羽	採卵用成鶏 約 30 万羽
疑似患畜判定	1/2（月） 9：00	1/11（土） 9：00	1/22（水） 8：30	1/22（水） 8：30
殺処分開始	1/2（月） 9：00	1/11（土） 9：00	1/22（水） 8：35	1/22（水） 8：35
埋却等完了	1/6（月） 18：00	1/16（木） 21：00	1/31（金）	1/30（木） 12：00
久慈保健所の対応	県央保健所の支援に職員を派遣			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫作業員 延 6 人</li> <li>・防疫作業員の健康調査及び PPE 着脱指導 延 12 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫作業員 延 6 人</li> <li>・防疫作業員の健康調査及び PPE 着脱指導 延 8 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫作業員 延 28 人</li> <li>・防疫作業員の健康調査、PPE 着脱指導 延 11 人</li> </ul>	
管内市町村の対応	なし	久慈市延 2 人 普代村延 1 人 野田村延 1 人 洋野町延 3 人	久慈市延 2 人 普代村延 1 人 野田村延 1 人 洋野町延 4 人	なし

## (2) 軽米町 発生事案 (1 事例)

概要	肉用鶏 約 5 万羽
疑似患畜決定	1/5 (日) 9:00
殺処分開始	1/5 (日) 9:00
埋却・消毒等完了	1/7 (火) 21:00
久慈保健所の対応	二戸保健所の支援に職員を派遣 ・防疫作業員 延 6 人 ・救護所運営及び PPE 着脱指導 延 8 人
管内市町村の対応	なし



殺処分作業



処分鶏等の埋却作業

写真：岩手県ホームページ（岩手県高病原性インフルエンザ対策本部会議資料）

## 3 能登半島地震の支援について

### ① 地震の概要

- ・発生日時：令和 6 年 1 月 1 日 16 時 10 分
- ・震源地：石川県能登地方 震源の深さ：ごく浅い
- ・震度：最大震度 7（石川県の志賀町、輪島市） \* 珠洲市は震度 6 強
- ・マグニチュード：7.6

### ② 派遣要請

- 令和 6 年 1 月 3 日（水）厚生労働省から保健師等の応援派遣要請
- 1 月 4 日（木）岩手県として保健師等チームの派遣決定
- 1 月 6 日（土）保健師 2 名、連絡・運転要員 2 名で構成するチームを石川県へ派遣

### ③ 派遣の概要

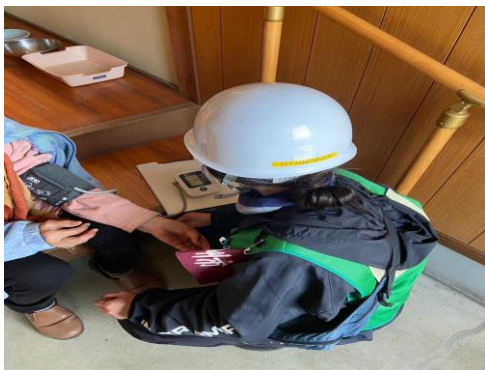
- ・活動場所：石川県珠洲市
- ・活動内容：避難所における住民の健康支援業務  
在宅における要支援者の健康管理業務等
- ・派遣期間：令和 6 年 1 月 6 日～令和 6 年 3 月 27 日
- ・派遣状況：16 班 69 人  
内訳 保健師 32 人、管理栄養士 5 人、連絡調整要員 16 人  
運転要員 16 人  
他、運転技師 3 名（盛岡～金沢間のレンタカーの運転）  
3/1 からは市町村との合同チームで派遣（第 12～16 班）

### ④ 久慈保健所の対応

- 保健師等チームの一員として派遣した。（計 7 人）
- ・第 4 班（1/21～1/27）連絡調整担当 1 人
- ・第 8 班（2/10～2/16）保健師 1 人
- ・第 9 班（2/15～2/21）連絡調整担当 1 人
- ・第 10 班（2/20～2/26）保健師 1 人、運転業務担当 1 人
- ・第 14 班（3/11～3/17）主任栄養士 1 人、連絡調整担当 1 人



【珠洲市の概要】(令和4年12月末時点)  
 人口： 12,947人  
 高齢化率： 51.1%  
 面積： 247.20 km<sup>2</sup>  
 世帯数： 5,901世帯



在宅の方への家庭訪問



避難所での栄養・調理指導